

経済基礎

問17 令和4年度のあなたの収入の種類の継続をお答えください。(○はいくつでも) (2) また、そのうち望まもの1つの選択肢番号を□にご記入ください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利息・配当	仕送り・小遣い	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった

問17-1

【望ま・望みの収入がある人にお書きします】
令和4年度における望ま・望みの収入額はいくらかですか
(○は1つだけ)

【望ま・望み】	
1	20万円未満
2	20～40万円未満
3	40～60万円未満
4	60～80万円未満
5	80～100万円未満
6	100万円以上

問17-2

【望みの収入がある人にお書きします】
令和4年度における望みの収入額はいくらかですか。
(○は1つだけ)

【望み】	
1	20万円未満
2	20～40万円未満
3	40～60万円未満
4	60～80万円未満
5	80～100万円未満
6	100万円以上

問18 あなたの令和4年度の収入額(1年働)はいくらですか。(○は1つだけ)

1	収入なし	8	300～400万円未満
2	50万円未満	9	400～500万円未満
3	50～100万円未満	10	500～600万円未満
4	100～150万円未満	11	600～700万円未満
5	150～200万円未満	12	700～1,000万円未満
6	200～250万円未満	13	1,000～1,500万円未満
7	250～300万円未満	14	1,500万円以上

※収入額には、ご自身で働いて得た収入や就労継続支援事業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や家族からの仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

社会参加等

問19 あなたはこの1年働、平日の日中は望みどきで過ごしましたか。(○は1つだけ)

1	自分の家
2	職場(福祉的職員の施設を除く)
3	職場(福祉的職員の施設)
4	学校
5	通所施設(生活介護、デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的職員の施設を除く)
6	入所施設
7	その他()

問19-1

あなたは、就労利用している施設に満足していますか。(○は1つだけ)

1	とても満足している
2	満足している
3	だいたい満足している
4	かつう
5	やや不満である
6	不満である
7	とても不満である

問20

あなたはこの1年働、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。(○はいくつでも)

1	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、貴物
2	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動
3	旅行やアウトドアなどの余暇活動
4	学習活動(オンライン参加含む)
5	趣味の習い事やサークル活動
6	ボランティア活動
7	障害者団体での活動
8	その他()

9	活動をしたと思うものはあるが、体調や情報保障の面などで合理的配慮がない等の理由で参加できない
10	何か活動をしたと思うが、参加したいものが見つからない
11	活動をしたと思う

問21

あなたが¹参加する上で、妨げになっていることはありますか。（〇は3つまで）

1	道路や駅などの利用が不便
2	電車やバスなどを使っての移動が不便
3	利用する建物の設備が整備されていない
4	点字版が古い、破損等により利用が不便
5	介助者がいない
6	情報がない
7	FAX番号やメールアドレスなど連絡方法の整備がされていないため、参加連絡などの問合せができない
8	まわりの人の障害者に対する理解不足
9	障害を理由に施設等の利用を拒否される
10	適切な指導者がいない
11	二階に行く前階段がない
12	契約筆記、手話通訳、字書・文字表示、点字などの準備がされていない
13	ヘルプメニュー等をつけて外出しているが、必要な配慮がされない
14	その他（ ）
15	特になし

問22

あなたは、障害があるためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことがありますか。（〇はい<つつでも）

1	進学
2	就職
3	恋愛
4	結婚
5	出産・育児
6	欠付ききい
7	近距離の外出
8	旅行や遠距離の外出
9	フットボールなどのおしゃれ
10	スポーツ・文化活動
11	好きな食事や嗜好品（お酒、たばこ、コーヒーなど）
12	その他（ ）
13	特になし

情報の入手やコミュニケーションの手段

問23

あなたは、障害があるため、意思を伝える場合に困ることがありますか。（〇はい<つつでも）

1	会話（発音ができない、声が聞きとれないなど）
2	筆記（文字を書けない、読めないなど）
3	家族や支援者などに、表情やサインなどから自分の意思を読み取ってもらうことが必要
4	その他（ ）
5	困ることはない

問24

あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションを円滑にするために、日常生活用具・給付等事業で利用している用具等がありますか。（〇はい<つつでも）

1	携帯電話補助装置
2	情報・通信支援用具（※）
3	点字ディスプレイ
4	点字器
5	点字タイプライター
6	視覚障害者用ブータルコーダー
7	視覚障害者用文字認識上げ装置
8	視覚障害者用拡大読書器
9	盲人用時計
10	聴覚障害者用通話装置
11	聴覚障害者用情報受信装置
12	人工喉頭
13	福祉電話（貸与）
14	フットクヌ（貸与）
15	視覚障害者用ロードプロセッサー
16	点字図書
17	その他（ ）
18	日常生活用具給付等事業の制度は知っているが、利用していない
19	日常生活用具給付等事業の制度自体を知らなかった（利用できることを知らなかった）

※福祉杖は、「日常生活用具等（福祉杖等）」による
 ※情報・通信支援用具とは、障害者向けのパーソナルコンピューター周辺機器や
 アプリケーションソフトをいいます。

《前5(1)(4ページ)で1を讀んだ方(種族障害者の方)にお聞きします。》

※該当ではない方は問27(19ページ)までお進みください。

あなたは、日常生活において荷(難)から情報を得ていますか。
(○はいくつでも)

問25

1	言語
2	指文字
3	手書き文字(てのひら書き)
4	拡大文字図書
5	録音図書・ディスプレイ
6	朗読サービス・代筆代読支援サービス
7	テレビ・ラジオ
8	電話・携帯電話(カプラー)
9	スマートフォン・タブレット端末等
10	パソコン読み上げソフト等
11	視覚障害者支援スマートフォンアプリ
12	身近な人(家族、友人、支援者など)
13	その他()
14	特にない

問26

あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

(○は特に困っていることに2つまで)

1	点字、警署の出版物が少ない
2	公共施設の案内等がわかりにくい
3	視覚障害者向けの行政の広報誌が手に入りにくい
4	初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う
5	重要な手紙や書類と気がつかず放置してしまった
6	警署による情報が少ない
7	インターネット(スマートフォンやパソコン)からの情報入手が難しい
8	商業施設等でのタッチパネルでの操作が難しい
9	その他()
10	特に困らない

《前5(1)(4ページ)で2を讀んだ方(種族障害者の方)にお聞きします。》

問27

あなたは日常生活において、どのような手段でコミュニケーションをとっていますか。(○はいくつでも)

1	棒字(筒)にも難くない状態)での書き取り
2	補聴器・補聴援助機器での書き取り
3	人工内耳での書き取り
4	筆談
5	契約筆記通訳
6	口話・読唇
7	日本語
8	日本語対応手話
9	手話通訳
10	メール(携帯メール含む)
11	ファックス
12	電話リレーサービス
13	その他(具体的に)

【日本語と日本語対応手話の違いについて】

日本語では便宜的にこの用語を用いることとします。

	日本語	日本語対応手話
説明	ろう者が伝達時に用いてきた手話で、日本語との対応はなく独自の文法の手話	文章を書く際の文章に合わせて変換する日本語に合わせた手話
手話(例)	「パソコン」「教」「荷+困る事情(どこ?)」	「教」「の(口形)」「パソコン」「は(口形)」「どこ(「荷」+「場所」)」「? (指でなぞる)」

〔日本手話、日本語対訳手話〕を利用している（問27で選択肢7または8を選択した）方にお聞きします。

問27-1 あなたは手話通訳を利用したことがありますか。

利用したことがある	利用したことがない
1	2

問27-1-1

手話通訳で何か困ったことはありませんか。（〇はい×つでも）

1	使いたい時簡単に、手話通訳の調整がつかず断られたことがある
2	手話通訳を紹介しても、伝えたいことがうまく伝わらなかった
3	手話通訳の利用範囲に制限があり、利用しにくい
4	遠隔手話通訳を利用したいが、使い方がわからない
5	その他（ ）
6	特に困ったことはない

問27-1-2

手話通訳を利用しない理由はありませんか。（〇はい×つでも）

1	利用しようとしたが手話通訳の調整がつかず利用を断られたため
2	手話通訳の利用範囲に制限があり、利用しにくい
3	利用したいが、どのように手話通訳を使えばいいかわからないため
4	その他（ ）
5	必要ないので利用していない

問28 あなたは情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。（〇は特に困っていることに2つまで）

1	手話では意思疎通に困難がある
2	筆談・要約筆記では意思疎通に困難がある
3	口話では意思疎通に困難がある
4	字書きのテレビ番組が少ない
5	字書きのテレビ番組が少ない
6	車内等の繁音・非常時の情報が取りにくい
7	まわりの人と意思疎通が十分にできないため人間関係がうまくいかない
8	インターネットの使い方がよくわからない
9	メールの使い方がよくわからない
10	音声発信の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない
11	その他（ ）
12	特に困らない

障害者総合支援法による障害福祉サービス等

自宅で生活している方（問4で1を選んだ方）にお聞きします。

※該当ではない方は、問31（23ページ）にお進みください。

問29

過去1年間に障害者総合支援法による障害福祉サービスについて、どのような内容のサービスを利用しましたか。（〇はい×つでも）

1	介護付（ホームヘルプ）等（介護訪問介護、同行支援、重度障害者等包括支援を含む）
2	短期入所（ショートステイ）
3	生活介護
4	自立訓練（機能訓練、生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）、就労定着支援
5	共同生活援助（グループホーム）、自立生活援助
6	補装具費支給
7	移動支援事業
8	意思疎通支援事業（手話通訳、要約筆記者の派遣等）
9	日常生活用具給付等事業
10	相談支援事業（計画相談、地域移行支援、地域定着支援）
11	その他（ ）
12	障害福祉サービスの制度は知っているが、利用していない
13	障害福祉サービスの制度を利用できることを知らなかった

選択肢1と2以外のサービスを利用している場合
（23ページ）へ

問30

問29-1 あなたが利用した障害介護等のサービスの種類は何ですか。（〇はい×つでも）

1	身体介護	5	同行支援（身体介護・有）
2	家事援助	6	同行支援（身体介護・無）
3	通院等介助	7	重度訪問介護
4	通院等乗降介助	8	行動支援
		9	重度障害者等包括支援

問29-2 あなたが利用したサービスについて、支給量は十分だと感じますか。（〇は1つだけ）

1	十分である
2	足りない
3	どちらともいえない（十分だと感ずることも、足りないと思うこともある）
4	わからない
5	その他（ ）

問29-3

（23ページ）へ

障害者総合支援法のサービスを利用した方(問29 から11を選んだ方)にお聞きします。

問29-3

障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担についてお聞きします。
令和5年9月の1か月にあなたが負担した額(後援等実費負担は除く)はいくらですか。
(〇は1つだけ)

1	0円
2	1円～1,500円
3	1,501円～3,000円
4	3,001円～9,300円
5	9,301円～15,000円
6	15,001円～24,600円
7	24,601円～37,200円
8	わからない
9	9月は利用していない

自宅で生活している方(問4 で1を選んだ方)にお聞きします。

※該当ではない方は、問31 (次ページ) にお進みください

問30

あなたの障害支援区分はいくつですか。(〇は1つだけ)

1	区分1
2	区分2
3	区分3
4	区分4
5	区分5
6	区分6
7	申請していない
8	申請したが非該当
9	わからない

◆障害者総合支援法のサービスには、大きく分けて「訓練給付」「訓練等給付」「地域生活支援事業」があります。このうち「訓練給付」を利用する場合のみ障害支援区分が設定されますので、「訓練等給付」や「地域生活支援事業」のみ利用した方は、「申請したが非該当」を選択してください。

令和5年10月1日(調査基準日現在、40歳以上の方全員にお聞きします。)

※39歳以下の方は、問32 (25ページ) にお進みください。

問31

あなたは、介護保険制度を利用していますか。(〇は1つだけ)

1	利用している
2	介護認定を受けているが、利用していない
3	介護認定を受けていない

問31-1

あなたの要介護度は何度ですか。(〇は1つだけ)

1	要支援1
2	要支援2
3	要介護1
4	要介護2
5	要介護3
6	要介護4
7	要介護5

問32 (25ページ)へ

問31-2

あなたの介護保険法におけるサービスの費用負担についてお聞きします。
1か月にあなたが負担する額(後援等実費負担は除く)はいくらですか。(〇は1つだけ)

1	0円
2	1円～4,970円
3	4,971円～10,400円
4	10,401円～16,580円
5	16,581円～19,480円
6	19,481円～26,750円
7	26,751円～30,600円
8	30,601円～35,830円
9	35,831円以上
10	わからない

問31-3

介護保険制度を利用している方(問31で1を選んだ方)お聞きします。

問31-3 あなたはどのような内容の在宅サービスを受けていますか。(〇はい<つても)

1	ホームヘルプサービス(訪問介護)
2	訪問入浴介護
3	訪問看護
4	訪問リハビリテーション
5	デイサービス(通所介護)
6	デイケア(通所リハビリテーション)
7	ショートステイ(短期入所生活介護)
8	その他()
9	在宅サービスは受けていない

問32 (次ページ)へ

問31-3-1 あなたが受けているサービスの内容は何ですか。(〇は1つだけ)

1	身体介護のみ
2	生活援助のみ
3	身体介護と生活援助の両方

問31-3-2 サービス内容で困っていることはありませんか。(〇はい<つても)

1	1回の訪問介護の時間が短い
2	訪問介護が1日に何回かに分けられている
3	家族がいるので訪問介護を受けられない
4	希望するサービスを受けられない
5	時間延滞を希望しても受けとらえない
6	訪問介護員が代わってしまう
7	外出をしたくても対応してもらえない
8	その他()
9	困っていることは特にない

施設入所(施設入所者対象)

施設に入所している方(問4で2を選んだ方)にお聞きします。
※自宅で生活している方は問35(次ページ)にお答えください。

問32 あなたの入所を決めた人は誰ですか。(〇は1つだけ)

1	自分が決めた
2	自分以外の人が決めた

問32-1 あなたが施設入所を決めた理由は何ですか。(〇は2つまで)

1	家族による介護が困難
2	将来自来安
3	家族に勧められて
4	住む場所がない
5	すべての面で生活が保障されている
6	仲間がいるので安心
7	長時間介護が必要
8	医療的ケアが必要
9	その他()

問33 あなたは、今の施設に入ってからどれくらい(何年)になりますか。

年
・現在入所の施設についてお答えください
・1年未満の場合は0と記入してください

問34 あなたは、今の施設での生活に満足していますか。(〇は1つだけ)

1	とても満足している
2	満足している
3	だいたい満足している
4	ふつう
5	やや不満である
6	不満である
7	とても不満である

その他の福祉サービス等

問35

あなたは、福祉サービスで暮らしたいと思いませんか。(〇は1つだけ)
※将来も「今のままが良い」とお考えの方は、今の暮らしに該当する選択肢に〇をつけてください。

Table with 7 rows and 1 column. Options include: 1. 入居施設で暮らしたい, 2. 家族と一緒に暮らしたい, 3. グループホームですと暮らしたい, 4. グループホームで支援を受けた後、一人暮らしをしたい, 5. 一人暮らしをしたい, 6. その他, 7. わからない

問36 あなたが身近な地域で生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等はありますか。(〇は3つまで)

Table with 19 rows and 1 column. Options include: 1. 障害者が暮らしやすい住宅の整備, 2. 駅や通商における段差などのバリアフリー, 3. 就労の場の確保, 4. 雇用促進の充実, 5. 所得保障, 6. 総合的な相談事業の充実, 7. ホームヘルプサービスの充実, 8. 日中活動の場の充実, 9. ショートステイサービスの充実, 10. 外出にかかわる支援の充実, 11. 意思疎通(コミュニケーション)支援の充実, 12. 情報提供(面での)バリアフリー(字種・文字表示、音響装置など), 13. 生活全般にかかわる情報提供の充実, 14. 相談相手の確保や人間関係についてのアドバイザー, 15. 障害に対する周囲の人の理解, 16. 医療の充実, 17. リハビリテーションサービスの充実, 18. その他, 19. 特になし

災害関係

問37

あなたが災害時に、不安を感じることはいくつですか。(〇はいくつでも)

Table with 8 rows and 1 column. Options include: 1. 災害の被害や避難先等の情報が入手・理解できるか, 2. 適切に行動・避難や広域避難場所への移動等ができるか, 3. 自らの状況や必要な支援内容を周囲の人や家族等に伝えることができるか, 4. 周囲の人から応援とする支援を受けられることができるか, 5. 避難所等において、必要な相談、介護、看護等を受けられることができるか, 6. 避難所等に、必要な食糧、食料、医薬品等があるか, 7. その他, 8. 特になし

問38

あなたは災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

Table with 12 rows and 1 column. Options include: 1. 災害時の非常退出用品、備品の中に、障害特性に応じて必要な医薬品、食料等を用意している, 2. 避難所等において医療が受けられるよう、お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している, 3. 災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している, 4. 災害時に避難所に支援してくれるよう、家族や知人等に対してお願いしている, 5. 地域や自治体でなる避難行動要支援者名簿に名前、住所等を登録している, 6. 個別避難計画を作成している, 7. 区市町村等が実施する避難訓練に参加している, 8. 災害時に障害があることを周囲の人に気付いてもらえるような工夫をしている(ヘルプマーク、ヘルプカード、災害ハンダチ等), 9. その他, 10. 特になし, 11. どのような対策をすればよいかわからない, 12. 特に対策をとっていない